



成年！2018 PartⅡ ～犬の顔が目印です！～

「おおとり号」のお話です。その前に、おおとり号に乗っていると、たまに「何の車ですか？」と訊かれることがあります。「血压測って下さい」と言われたこともありました。PR不足を反省しつつ、まずは簡単に説明します。

おおとり号は、図書の貸出や返却、予約・リクエスト、利用カードの発行などの図書館サービスをお届けする「移動図書館」です。小説や実用書、児童書、紙芝居など、約2500冊を積載して、市内35のステーション（貸出拠点）を定期的に巡回しております。犬の顔のマイクロバスをお見かけの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

❁犬も歌います！

さて、おおとり号は昭和56年に運行を開始し、今の車両で3代目になります。その3代目も間もなく9年目を迎えようとしていますが、この間、おおとり号で流している音楽はずっと同じCDを使っています。心温まる「童謡集」ですが、毎日聞いているとさすがに飽きてくるもので、「そろそろ変えてみようかな」と思ったことがあります。

そんなある日のこと、何気なく車の外を見てみると、音楽に合わせて踊っている子どもたちを目にしました。さらに、歌を口ずさみながら本を選んでいる方が多くいることにも気がつきました。おおとり号が近づくと歌いだすワンちゃんまでいます。

一緒に歌っていた子どもたちに「この歌が好きなの？」と聞いてみると「うん、学校で習った」と答えました。また、「来る日を忘れていたけど、いつもの音楽で思い出した」という方も少なくありません。こうした方々から「もう飽きた」といわれるまで、もうしばらくは同じCDでがんばるしかないですね。

❁予告です。

最後に来年度の予告です。といっても、まだ準備段階ですが、4月からおおとり号の利用機会が大幅に増えそうです。たとえば、年間の巡回回数が1カ所当たり20回から23回になるところが。また、新設されるステーションもあります。詳細は後ほど。どうぞ、楽しみにお待ち下さい。（栗盛・小）

❁「おはなしとしゃかん」始まります！

図書館でのおはなし会は定番となっていますが、楽しいことは自分たちもやってみよう！ということで図書館職員がおはなし会をやることにしました。12月の「ちひろ美術館がやってくる！」のおはなし会に続き、2度目になります。2月24日（土）10時45分から、栗盛記念図書館多目的室でおこないます。音楽とのコラボをぜひお楽しみください。

❁企業さまからの寄贈がありました。

とても嬉しいことがありました。(株)秋田銀行様の〈あきぎん〉CSR私募債事業により、白川建設株様の「小中学生向けの図書を寄贈したい」とのご意向で、7タイトル19冊の図書が寄贈されました。選書は図書館に任せていただきましたので、ワクワクできるもの、興味を深められるものを選書しました。去る1月25日に贈呈式が行われ、図書も納品されました。登録の手続き中ですのでもう少し時間をいただきますが、これらの図書をきっかけに「調べ学習」を進めてみてはいかがでしょうか。図書館は調べ学習のお手伝いもしています。ぜひ、ご活用ください。(保)